



考える子  
やさしい子  
たくましい子

# 角尾山

〈発行〉西脇市立芳田小学校  
西脇市立芳田幼稚園  
兵庫県西脇市落方町 236-3

## 親子人権学習

「一人一人の思いや願いを大切に作る学級づくり」を合言葉に、本校では、授業や学校行事をはじめとする毎日の学校生活の中で、自尊感情を大切に、思いやりの心と豊かな自尊感情を育て、生きる力を養うことをめざして人権教育に取り組んでいます。基本的人権を尊重することは、日本国憲法の三つの柱の一つでもあります。人権の問題について考えていくことが必要なのは、わたしたちも同じです。

その取組のひとつとして、11月27日（金）に親子人権学習を計画しています。保護者のみなさまに、親子人権学習に参加していただくことで、学校と家庭が連携し、子どもたちの人権意識をさらに高めていく機会になればと考えています。親子で学び合うことで、子どもたちの学習意欲がより高まったり、自分の意見がより深まったりすることを期待しています。

ご多用とは存じますが、親子人権学習に参加していただき、親子で人権について考え、ともに人権意識を高めていただくとともに、子どもたちの心の成長を支援していただきますようお願いいたします。（人権教育部）

## 11月の行事予定

2日（月）	委員会活動	17日（火）	避難訓練（火災）
3日（火）	文化の日	19日（木）	保幼小交流会
4日（水）	食育指導（6年）	20日（金）	登校指導
5日（木）	こども貯金 学年費集金日	21日（土）	いきいきふれ愛祭り 西脇市人権教育研究大会
6日（金）	就学時健康診断 食育指導（5年） 幼小交流（秋フェスタ）	23日（月）	勤労感謝の日
10日（火）	登校指導 保小交流（秋フェスタ）	27日（金）	親子人権学習 人権集会（講演会）
11日（水）	巡回公演 人形劇団京芸	30日（月）	「こころの花」の日 ペットボトルキャップ回収日 市内幼稚園おでかけコンサート （アピカホール）
12日（木）	歯科健診（小全）		
13日（金）	市内連合音楽会（4～6年）		
16日（月）	「こころの花」の日 ペットボトルキャップ回収日		

\*12月4日（金）マラソン大会

## 芳田小学校アルミ缶回収活動

## ～いずみ寮へ車椅子を寄贈しました～

芳田小学校児童会が中心となって行ってきたアルミ缶回収活動により、車椅子を1台いただくことができました。5年間で集めたアルミ缶の総重量は800kgを超え、車椅子に交換してもらいました。「車椅子をどのように役立てようか？」児童会で話し合った結果、いずみ寮の方々に車椅子を利用していただくことにしました。5年生が代表でいずみ寮を訪問し、車椅子をお渡しすることができました。これまで活動を続けてきた子どもたち、回収にご協力いただいたPTAの方々、地域の方々の温かい心が一つの成果となりました。ありがとうございました。



また、いずみ寮の方々には、「いずみ文庫」への寄贈や福祉の学習でのご協力、音楽会への参加など、芳田小学校・幼稚園と長年交流していただいています。

いずみ寮のみなさんから、今年も「いずみ文庫」に寄贈をしていただきました。この取組は、27年も前からずっと毎年続けてくださっています。本当にありがとうございました。

## <ひまわり学級紹介>

### いきいき のびのび チャレンジしよう!



ひまわり学級では、自分のペースを大切に、それぞれの特性に合った学習の仕方です。個別学習が基本ですが、異学年で構成された学級にしかできない学びも楽しんでいます。国語や算数の教科学習を中心に、体や体幹を鍛える運動や、「生活単元学習」といって、コミュニケーション力をつけたり、栽培や制作などの協働的活動なども取り入れたりして、生活に役立つ力をつける学習も行っています。

ひまわり学級の子供達は、とても仲良しで、明るく元気いっぱいです。笑いが絶えません。お互いの良さや特性を認め合って、やさしい関わりをすることができています。いつも「いきいき・のびのび」いろいろなことにチャレンジしています。運動会では、3人それぞれの一生懸命な活躍が見られました。音楽会では自分の楽器の練習にがんばりました。そして、それらの練習に、3人がお互いに応援し支え合い、高め合う姿がよく見られました。3人の小集団ですが、小さな集団での学びが、大きな集団の学びに繋がるように期待しています。そして、自己肯定感を高めることを意識しながら活動を積み重ね、スモールステップですが、子供達の成長を願って取り組んでいます。

### こころの花の日

かつて聞いた、ある保護者のお話です。

「担任の先生に『家庭訪問の時にお子さんの良いところを3つお聞きしますのでご用意ください』と言われ、はたと困ってしまいました。悪いところならいくらでも思いつくのに、良いところと言われると・・・、ホントに見つからないのです・・・」

さて、みなさんはどうでしょうか？

「強い心」「やさしい心」「美しい心」見つけは、自分自身に対しても意識しないとできないようです。自分で自分の「よさ」に気づき、自己肯定感を高めることは、子供達のよき成長には欠かせないことです。自分を肯定することができれば、人に対してもやさしい気持ちがあふれてきます。

本校では、今年度も全教育活動で自己肯定感を高める取組をしており、「こころの花」の取組もその1つです。月に2回、自分や友達の「よさ」を見つけて小さなメモに残し、職員室前のろうかに掲示しています。学校に来られる機会があれば、また見てください。また、3学期には、ご家庭のみなさんにも「こころの花」への参加を呼びかけさせていただきますので、よろしく願いいたします。学校だけでなく、家庭や地域にもこの取組の輪が広がっていくことを願っています。

### 【こころの花】より

- ・わたしはダンスをがんばりました。ふりつけをまちがえないように、いっしょうけんめいがんばりました。(1年生)
- ・まえ、テストをかえしてもらったときに、まちがえていて、友だちがていねいにやさしく教えてくれてうれしかったです。(2年生)
- ・里山のとて、友だちが長いぼうをもっていたからいっしょにもってあげました。2人でもつとかるかったです。(3年生)
- ・手話体験がありました。わたしがうれしかったのは、手話が通じたことです。もっと手話を勉強したいです。(4年生)
- ・まえトイレに行ったときに、ぼくが無意識でトイレのスリッパを並べられてよかったです。これからも続けたいです。(5年生)
- ・組体操のピラミッドでの練習のとき、土台の人が、しんどいはずなのに「がまん」と言っていました。とても勇気づけられました。(6年生)



